

再生可能エネルギー中心 の社会へ-原発事故を踏まえて-

講師：和田 武氏 (日本環境学会会長、自然エネルギー市民の会代表)

日時：2012年2月21日(火)14:35～16:20

場所：広島大学総合科学研究科J306 (J棟3階)

■講演内容

21世紀の人類の最重要課題として地球温暖化危機の回避があるが、日本がCO2削減のためとして推進してきた原発拡大は危険である。世界的にも国内的にも再生可能エネルギー資源は豊富であり、それを中心とする社会への転換は十分に可能である。市民主導で再生可能エネルギー普及に取り組み、普及が促進されるとともに、将来性ある産業の発展、雇用の拡大、農村地域の自立的発展、エネルギー自給率の向上など、社会に多くの好影響をもたらす。これらのことを、普及が進むドイツやデンマーク等の具体的事例なども紹介しながら論じる。



講師：和田 武氏

講師紹介

工学博士。元立命館大学教授。
専門は、「環境保全論」「資源エネルギー論」。

研究テーマ

最近、日本、ドイツ、デンマーク、インドなどを中心に温暖化防止エネルギー対策、とくに市民参加による再生可能エネルギー(自然エネルギー)普及、普及政策、普及による社会的影響等について、現地調査を踏まえて研究している。同時に、持続可能な社会への発展プロセスについても研究している。

【お問合せ先】

広島大学大学院総合科学研究科 佐藤高晴

TEL: 082-424-6520

E-mail: staka@hiroshima-u.ac.jp

木質ペレットプロジェクト: <http://home.hiroshima-u.ac.jp/wpp/>

RM養成プログラム: <http://www.hiroshima-u.ac.jp/rm/index.html>

※講演会後に懇親会を予定していますので、参加希望の方は佐藤までご連絡ください。

参加費無料
事前申込不要

学内・学外を問わず、
多くの方のご参加を
お待ちしております。